

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	パートナーシップ推進プロジェクト	実施期間	H23～H26	テーマ	市民協働	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地域の連帯感が弱まり、かつてのような集落自治の維持が困難な状況となっている中で、防災・防犯など個人の力では解決できない問題が増加しており、地域住民自らがその問題解決に取り組む「地域力」の再生が重要な課題となっている。とりわけ中山間地域においては、過疎化・高齢化が進行し将来的に集落の消滅が危惧されるような小規模集落も発生しており、集落機能を維持するための施策が求められている。</p> <p>他方で、福祉、環境、まちづくりなどさまざまな分野でボランティア組織、NPO等による市民活動が活発化しており、公共サービスの新しい担い手としてその活躍に大きな期待が寄せられている。こうした市民の自主的・自発的な公益活動がさらに活発になるような環境づくりを進め、市民、市民活動団体、事業者及び行政がお互いの立場を理解し、不特定かつ多数のものの利益の増進を図るための共通の目標に向かって対等な立場で努力し、その成果と責任を共有しあう関係を構築する必要がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>市民の自立、自助意識を高め、市民が交流し協働してまちづくりを進める仕組みをつくとともに、市民の多彩な地域活動やボランティア活動、文化活動への支援の充実に努め、市民が共に築き、結び合う、市民主体のパートナーシップ都市の実現を目的とする。</p>						
	総事業費（千円）	364,201	本年度事業費（千円）	116,894	交付金額（千円）	27,781	
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	京丹後コミュニティFM放送委託事業	交付対象事業	市民との情報共有を進めるため、地域に密着した番組を放送している「FMたんご」に市政情報の放送を委託する。	市民との情報共有を進めるため、FMたんごに市政情報の放送を委託した。			
	水と緑の里・コミュニティビジョン支援条例等検討事業	交付対象事業	地域の振興と活性化を図るため、京丹後市型の水と緑の里条例及びコミュニティビジネス支援条例の検討を行う。	地域の振興と活性化を図るため、京丹後市型の水と緑の里条例及びコミュニティビジネス支援条例の検討を行った。			
	行政情報番組制作委託事業	交付対象事業	ケーブルテレビの自主放送チャンネルで、市からのお知らせ番組や市議会中継を放送する。	ケーブルテレビの自主放送チャンネルで、市からのお知らせ番組や市議会中継を放送した。			
	集落支援事業	交付対象事業	各市民局に地域にぎわい創り推進員を設置し、地域の特性や特徴を活かしつつ、市民と行政との協働による地域振興を図る。	各市民局（6庁舎）に地域にぎわい創り推進員を設置し、地域の特性や特徴を活かしつつ、市民と行政との協働による地域振興を図った。			
	市HP「ふるさと京丹後・地域紹介コーナー」の開設	関連事業	各地区の概要や独自の取り組みなどを市民自らが掲載するコーナーを開設する。	市HPで各地区の概要や独自の取り組みなどを市民自らが掲載するコーナーを開設した。			
	「京丹後市白書」発刊事業	関連事業	平成23年度に実施した主な事業の成果と決算額を掲載した「京丹後市白書」を発刊する。	平成23年度に実施した主な事業の成果と決算について掲載した「京丹後市白書」を発刊した。（760部）			
	「わかりやすいことしの予算」発行事業	関連事業	平成24年度予算をわかりやすく解説した市民向けの予算説明書「わかりやすいことしの予算」を発行する。	平成24年度予算をわかりやすく解説した市民向けの予算説明書「わかりやすいことしの予算」を発行した。（22,000部）			
	小規模集落支援事業	関連事業	小規模集落を再生・活性化させるため、水と緑の里づくり支援員を配置する。	小規模集落を再生・活性化させるため、水と緑の里づくり支援員を配置した。（6人）			
住民協働 事業	市民力活性化推進プロジェクト外事業補助金	交付対象事業	市民の潜在力を活かし、地域活性化に貢献する団体の活動を支援する。	市民の潜在力を活かし、地域活性化に貢献する団体の活動を支援した。（22団体）			
	市民協働のまちづくり事業補助金	交付対象事業	地区又は地域の住民団体が行う地域の発展及び振興を図るための取り組みを支援する。	地区又は地域の住民団体が行う地域の発展及び振興を図るための取り組みを支援した。（181件）			
	地域まちづくり支援事業補助金	交付対象事業	地域の将来の目標や方針などを定める地域まちづくり計画の策定を支援する。	地区等が行う地域振興対策事業のうち、地域まちづくり計画の策定に取り組む地区等に補助金を交付した。（4地区）			
	地域集会施設整備費補助金	交付対象事業	地域コミュニティ活動の活性化を図るため、活動の拠点施設となる地域集会施設の整備等を支援する。	地域コミュニティ活動の活性化を図るため、活動の拠点施設となる地域集会施設の整備を支援した。（9地区）			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

住民協働事業	ふるさと共援活動支援事業補助金	関連事業	過疎・高齢化の進んだ農村集落と大学や企業、NPO法人など集落外の協力者が一体となり取り組む集落再生活動を支援する。	過疎・高齢化の進んだ農村集落と大学や企業、NPO法人などが一体となり取り組む集落再生活動を支援した。	
	里力再生事業補助金	関連事業	過疎・高齢化の進んだ複数の集落と、里力再生委員や住民団体などが連携して行う地域再生活動を支援する。	過疎・高齢化の進んだ複数の集落と、里力再生委員や住民団体などが連携して行う地域再生活動を支援した。	
	コミュニティ助成事業	関連事業	財団法人自治総合センターが実施する自治宝くじコミュニティ助成事業（一般コミュニティ事業）を活用し、地区等が行う地域振興事業を支援する。	財団法人自治総合センターが実施する自治宝くじコミュニティ助成事業を活用し、地区等が行う地域振興事業を支援した。（2件）	
住民が取り組む事業	地域との協働による丹後田舎暮らし支援活動事業	関連事業	京丹後市への移住・定住を希望する方に情報提供などの支援を行う。		
	映像番組制作による地域活性化事業	関連事業	地域住民を活用した番組作りを進め、従前のケーブルテレビに加えインターネットによる配信を行う。		
成果指標①	成果指標の目標数値	地域まちづくり計画策定件数 H22 6件 → H26 30件		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	12件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	地域の将来に関する目標、方針、施策、実施計画等を明らかにする地域まちづくり計画の策定を支援しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	水と緑の里づくり支援員配置数 H22 6人、8地区 → H26 11人、13地区		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	6人、7地区
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	人口減少や過疎・高齢化の進む集落を支援する取り組みをしているが、支援を望まない集落もあるため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	地域にぎわい創り推進員数 H23 2人2町域 → H26 12人6町域		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	6人6町域
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	1町域に1名の配置とし、全市域に事業拡大できたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	市民力活性化推進プロジェクト事業実施団体数 H22 17件 → H26 40件		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	22団体
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	市民力活性化推進プロジェクト事業実施団体数が増加の傾向にあり、応募件数が増加しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

成果指標 ⑤	成果指標の目標数値	市民協働のまちづくり事業提案件数 H22 147件 → H26 150件		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	181件
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	地区が所有する施設及び設備の整備や村おこし・地域づくり事業など地区からの要望件数が増加しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑥	成果指標の目標数値	市民による自主的・自発的な公益活動の拡大をめざす		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑦	成果指標の目標数値	市内文化団体数 H22 168団体 → H26 200団体		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	174団体
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	地域の伝統や歴史的に育まれてきた文化を次世代に引き継ぐ取り組みが盛んなため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑧	成果指標の目標数値	文化芸術イベント数 H22 48回 → H26 60回		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	60回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑨	成果指標の目標数値	京都府丹後文化会館年間動員数 H22 30,465人 → H26 32,000人		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	37,902人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	(財) 京都府丹後文化事業団が様々なイベントを行ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

成果指標 ⑩	成果指標の目標数値	丹後文化芸術祭事業数、参加者数 H22 12事業、6,842人 → H26 15事業、7,000人		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	9事業、6,079人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	セミナーが講師都合で中止になったことによる。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>市民の自立、自助意識を高め、市民が交流し協働してまちづくりを進める仕組みをつくとともに、市民の多彩な地域活動やボランティア活動、文化活動への支援の充実に努め、市民が共に築き、結び合う、市民主体のパートナーシップ都市の実現を図った。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに 対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	ケーブルテレビや地元ラジオ局を通して自主的な地域の取り組みを紹介することで、市民自治に対する意識啓発を図ることができた。また、過疎高齢化が進む小規模集落へ情報提供や支援員の応援を得ることで、多面的な考え方が醸成され、集落活性化の意欲向上に繋げることができた。一方、今のまま静かな生活がしたいと支援を望まない集落もあり、今後の集落の維持が課題である。				
	広域的波及成果	ふるさと応援大使に特製名刺を配付し、名刺を利用した京丹後市の広報宣伝を行ってもらうことで、京丹後ブランドを全国へ発信した。				
	行財政改革に資する成果	行政と地区・地域との協働を推進することで、行政コストの削減につながっている。				
	その他の成果	情報共有のために防災行政無線など各種媒体を活用した市政情報の提供、集落間の連携を図り一体的なまちづくりを進めた。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。